

第8回 高崎学検定

令和2年10月24日（土）



問題用紙

制限時間 90分

問 1

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市吉井町神保にある【ア】の境内には、群馬県指定天然記念物の大木があります。樹種は常緑樹の【イ】で、樹齢は500年と推定され、同寺の開山・直翁えいしゅう斎正の手植えとも伝えられています。

ア (1) 龍源寺りゅうげんじ (2) 仁叟寺じんそうじ (3) 恩行寺おんぎょうじ (4) 慈眼寺じげんじ

イ (1) カヤ (2) イチョウ
(3) アラカシ (4) ヒマラヤスギ

問 2

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

市街地の西方に位置する八幡台地は、原始古代の遺跡の宝庫です。台地上の一面を占める八幡霊園のなかには、1970～1972（昭和45～47）年の霊園造成工事の際にみつかった遺構が保存され、県指定史跡となっています。旧市内では珍しい縄文時代の遺構もあり、縄文中期の【ア】は覆屋おおいやの下に保存されています。園内には3基の円墳も残されており、このうち峯林みねばやし古墳では大振りの自然石を組み上げた【イ】を見学することができます。古代の土木技術の巧みさを偲ぶことができます。

ア (1) 敷石住居跡 (2) 配石墓
(3) 陥し穴跡 (4) 環状列石

イ (1) 舟形石棺 (2) 竪穴式石室
(3) 石組み井戸 (4) 横穴式石室

問3

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

浅間山古墳は、高崎市倉賀野町にある巨大な【ア】です。墳丘の周りには、広大な二重の濠を巡らしています。墳丘の長さは172メートルで、築造された【イ】においては東日本最大の古墳でした。当時の大王墓の可能性が高い奈良県奈良市佐紀^{さきみささぎやま}陵山古墳と同じ設計で造られていることから、浅間山古墳の被葬者はヤマト王権の同盟勢力であったと考えられます。

ア (1) 円墳 (2) 前方後方墳
(3) 前方後円墳 (4) 方墳

イ (1) 3世紀後半 (2) 4世紀後半
(3) 5世紀後半 (4) 6世紀後半

問 4

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

下佐野町烏川左岸縁の上越新幹線高架橋脇にある、墳丘長70メートル級の前方後円墳【ア】は、死者を納める主体部が烏川対岸の岩野谷丘陵の凝灰岩の巨石を積み上げた全長8メートルの横穴式石室を持つ大型古墳です。

この地域には80基あまりの古墳がまとまり、6世紀後半頃にヤマト王権の直轄地佐野屯倉（三家）^{さのみやけ}の管理者であった豪族一族のものと考えられています。

また鳥川対岸には、碑文中に「佐野三家」と記された山上碑、^{さのみやけ}「下賛郷」^{しもさぬごう}と記された【イ】があり碑建立に深く関わっていたことが分かります。

- ア (1) 山名5号墳 (2) 大鶴巻古墳^{おおつるまき}
 (3) 漆山古墳^{うるしやま} (4) 山上古墳

- イ (1) 多胡碑 (2) 山上多重塔
(3) 入野碑 (4) 金井沢碑

問5

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

【ア】は、1968（昭和43）年から発掘調査が始まり、1981（昭和56）年に群馬県初の史跡公園として開園しました。

この古墳は6世紀後半に造られたもので、大量の副葬品は後の盗掘をまねがれたために、同時期の他の古墳に見られない朝鮮半島、中国からの搬入品を多数見ることができます。

これらのことから、この古墳の勢力が、直接朝鮮半島と交流した可能性もあり、今後の研究の重要な課題となっています。

これらの調査研究は群馬県だけでなく、日本列島全体の考古学資料に影響をあたえ、出土品は一括して【イ】に指定され、群馬県立歴史博物館に収蔵されています。

- ア（１）南下古墳 （２）観音塚古墳
 （３）綿貫観音山古墳 （４）二子山古墳

- イ（１）県重要文化財 （２）国宝
 （３）国重要文化財 （４）世界遺産

問 6

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

多胡薬師塚古墳は、吉井地区の鎭川右岸の段丘上に造られた【ア】の終末期古墳です。直径25メートルほどの小型円墳ですが、内部には【イ】の切石を用いた精緻な横穴式石室がみられます。この時期から急速に力を付けた豪族がいたことが分かり、この勢力は後に【ウ】に成長していくと考えられます。

ア (1) 5世紀 (2) 6世紀 (3) 7世紀 (4) 8世紀

イ (1) 館^{たて}凝灰岩 (2) 輝石安山岩
(3) 角閃石^{かくせんせき}安山岩 (4) 牛伏砂岩

ウ (1) 上野国司 (2) 多胡郡司
(3) 甘楽郡司 (4) 佐野屯倉

問7

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

上信電鉄、佐野のわたし駅からほど近くに、万葉集に収められた東歌の一首が刻まれた歌碑が建てられています。「かみつけの 佐野の船はし とりはなし 親はさくれど わはさかるがへ」と刻まれたこの東歌には、これにまつわる伝説があります。橋を挟んで若い男女が恋仲となりますが、これに反対する親が、2人が会えないように【ア】ために、2人共に川に流され亡くなったというもので、謡曲『船橋』は、この東歌と伝説を素材として作られたとされています。

この歌碑から200メートルほど南に、謡曲『【イ】』の主人公の屋敷跡と伝わる常世神社つねよがあります。さらに300メートルほど南には有名な歌人を祀った【ウ】があり、極彩色に彩られた社殿の天井には数多くの和歌が記されています。

- ア (1) 川を氾濫させた (2) タカを放し襲わせた
(3) 橋板を外した (4) 橋を燃やした

- イ (1) 高砂 (2) 道成寺 (3) 鉢木 (4) 羽衣

- ウ (1) 小町神社 (2) 定家神社
(3) 業平神社 (4) 人麻呂神社

問 8

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

榛名神社には新田義貞が奉納したともいわれる1323（元亨3）年の銘がある【ア】があります（群馬県指定重要文化財）。榛名山の東麓から南麓の地域にかけての郡（^{こおり}評）名は713（和銅6）年に「^{くるま}車」から好字2文字に改められ、「^{くるま}群馬」に改定されましたが、読みは「クルマ」のままでした。この【ア】の銘文中には「上野国車馬郡」とあり、中世においても「群馬」が「クルマ」と読まれていたことがわかるほか、「【イ】」という銘から、榛名神社ではこの時代に神仏習合が進んでいたことがわかる貴重な資料になります。

ア（1）板碑 （2）五輪塔 （3）鉄燈籠 （4）^{ほうきょう}宝篋印塔

イ（1）満行権現 （2）榛名八幡
（3）榛名明神 （4）榛名権現

問 9

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

古代には、都と地方を結ぶ官道（^{えきろ}駅路）が整備されました。このうち、都から中部日本の内陸を通過して東北地方までを結ぶのが【ア】駅路です。この駅路は、安中市の^{のじりのうまや}野後駅を出た後、高崎市の八幡地区、浜川地区などを経由して、【イ】に至ります。当時の官道は、情報をいち早く届けるため、平野部は直線的に計画されていました。浜川地区には、現在も田園地帯を一直線に貫く地割が残され、その下に官道が埋もれていると考えられます。

ア（1）東山道 （2）東海道 （3）中山道 （4）鎌倉街道

イ（1）山王廃寺 （2）上野国分寺
（3）総社古墳群 （4）上野国府

問 10

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

下豊岡町にある【ア】には、「みかえり阿弥陀像」とよばれる仏像があります。ヒノキ材の寄木造りで、両手は欠落していますが、顔を左横に向けている姿が特徴的です。このような形式の仏像は、全国でも数体しか知られていません。

ところで、同じ敷地内には、江戸中期に全国で活躍した俳人・白井鳥酔の句碑「おもしろひ ゆめみるかほや 涅槃像」があります。「みかえり阿弥陀像」を釈迦の涅槃像に見立てたと考えられます。なお、江戸時代に中山道の南にあった【ア】は【イ】の拡幅工事の際に、現在地に移転しています。

ア（１）常安寺 （２）薬師堂 （３）千日堂 （４）万日堂

イ（１）国道18号 （２）国道17号
（３）国道354号 （４）国道254号

問 1 1

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

中世になると私領としての荘園が立荘されるようになります。高崎市域の荘園では、【ア】荘や多胡荘が知られます。一方、長野郷（榛名山南麓）は国の役所である国衙^{こくが}が領するところ（国衙領）となり、国衙の在庁官人^{ざいちょうかんじん}を中心として開発が進められました。榛名神社の1190（建久元）年の「上野国留守所下文」^{こうずけのくにするすどころくだしづみ}には在庁官人幹部として「【イ】氏」がみえます。戦国時代に上州一揆の旗頭として活躍する長野氏は、【イ】を別姓としていて、長野氏の祖がこの時期から活躍していたことがうかがえる史料です。その後、長野氏は一時史料にみえなくなりますが、長野郷が守護上杉氏の国衙領として存続する中で、戦国時代に長野氏が勢力を伸ばすことになります。

ア（１）倉賀野 （２）浜川 （３）八幡 （４）綿貫

イ（１）石上^{いそのかみ} （２）里見 （３）山名 （４）和田

問 1 2

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1560（永禄3）年に長尾景虎（後の上杉謙信、以下、謙信）は関東に初めて出兵しました。謙信の下には、上野国の武将が多数参陣しましたが、西上野では、長野氏を中心に19人の武将が結集した【ア】が最大の武士団でした。

謙信が翌年に越後に戻ると、上野は南から北条氏、西からは武田氏に侵攻されることになりました。特に西上野は武田氏の侵攻が激しく、長野氏と同盟関係にあった【イ】氏や倉賀野氏が武田氏の侵攻対象となり、1564（永禄7）年までにそれぞれの拠点である【イ】城や倉賀野城は落城しました。さらに吾妻郡も武田氏に侵攻されたため、箕輪城は孤立することになりました。この結果、毎年のように武田氏の侵攻を防いでいた箕輪城も1566（永禄9）年、ついに落城しました。

ア（1）倉賀野衆 （2）惣社衆 （3）厩橋衆 （4）箕輪衆

イ（1）岩下 （2）那波 （3）由良 （4）和田

問 1 3

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

箕輪城せきじょうじの北東には、築城した長野氏が創建し、城の鬼門除けとして知られる石上寺が所在しています。長野氏はこのほか、妙福寺、延養寺、八幡社、【ア】、慈上寺などの寺社を箕輪城の南側を中心に配置し、町を整備しています。その後、最後の城主、井伊直政は、石上寺のさらに北東に菩提寺として【イ】を創建し、この寺を起点にして2本の直線的な道を整備するなどの町づくりを進めました。

ア (1) 安国寺 (2) 永福寺 (3) 玉田寺 (4) 慈照寺

イ (1) 興禅寺 (2) 大信寺 (3) 龍廣寺 (4) 龍門寺

問 1 4

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

織田信長は、武田家を滅ぼすと上野国全部および信濃国のうち2郡を重臣の【ア】に与え、この地を治めさせました。しかし、わずか3か月後に起きた本能寺の変により信長が横死すると、【ア】はその弔い合戦のため上京を図ります。ところが、小田原の北条氏が関東地方の支配者としての地位を勝ち取る絶好の機会と考え、上京を阻止するために5万といわれる大軍で出陣し、上野国と武蔵国の境を流れる川を挟んで壮絶な戦いとなりました。【イ】合戦と呼ばれるこの戦いは、戦国時代を通して関東地方で最も大きな野戦といわれます。

ア (1) さくまのぶもり 佐久間信盛 (2) さつさりまさ 佐々成政
 (3) たきがわかずます 滝川一益 (4) にわながひで 丹羽長秀

イ (1) 鐺川 (2) 烏川 (3) 神流川 (4) 温井川

問 15

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市あら町シンフォニーロードの北側に建つ【ア】本殿は、江戸時代の寺社建築として市の重要文化財に指定されています。社殿は一見二層に見えますが裳階^{もこし}をつけた平屋建てで、軒下に直接鳥居を造りつけ、外壁は土蔵のような総漆喰^{そうしっくい}の塗籠造^{ぬりごめづく}りで、裳階の外壁の下半が【イ】になっています。

この神社は箕輪の下ノ社が井伊直政の移城と共に高崎城下に遷座されたもので、上ノ社は新紺屋町に移りました。1907(明治40)年8月に【ウ】に合祀されましたが、地元のあら町では長野県の総本社から再び勧請して、現在でも地元有志が中心に祭祀を行っています。

ア (1) 稲荷神社 (2) 山王神社
(3) 諏訪神社 (4) 富士神社

イ (1) 板壁 (2) 大津壁 (3) 聚楽壁^{じゅらくかべ} (4) 海鼠壁^{なまこかべ}

ウ (1) 愛宕神社 (2) 高崎神社
(3) 八幡神社 (4) 頼政神社

問 1 6

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎城の城下町は「遠構え」と呼ばれる堀と【ア】で囲まれる構造になっていました。この遠構えが、城下町の内と外の境界になるところが多く、遠構え付近を中心に「高崎七口」と呼ばれる7か所の出入り口（【イ】口・相生町口・江木新田口・羅漢町口・通町口・新喜町口・前栽町口）があり、その出入口近くには木戸が設けられ木戸番が置かれていました。

ア（１）生垣 （２）板塀 （３）柵 （４）土塁

イ（１）下小鳥町 （２）下之城町 （３）常盤町 （４）並榎町

問 1 7

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸時代、高崎城下の江木新田口から前橋城下を経て、野州（栃木県）へと通じる前橋日光往還といわれる街道が走っていました。この内、高崎城下から江木、貝沢、新保、箱田、小相木を経て、利根川を舟で渡り、前橋城下に至るまでの道筋のことを【ア】街道と言います。

しかし、1878(明治11)年、明治天皇の巡行に際し、日高を経由する【イ】新道が整備されると、道幅が狭く曲がりくねった【ア】街道は次第に利用されなくなりました。ほ場整備や都市開発等により、随所で街道が消滅し、今では全容を知ることが難しくなっています。

ア（１）前橋 （２）高崎 （３）御成^{おなり} （４）実正^{さねまさ}（真政^{さねまさ}）

イ（１）追分 （２）御幸 （３）例幣使 （４）高前

問 18

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

井伊直政が転出したのち、【ア】が高崎城主となり城下の整備を行いました。いくつか新設された町には、藩士を城郭内へ移住させた跡地に建設された赤坂町や、大坂夏の陣に従軍し軍功を挙げた地侍をたたえ与えられたと伝えられる【イ】があります。

【ア】の最も大きな功績は城下町の改造です。従来京口から本町通りを現在の椿町まで直進し、突き当たると右折して南へ向かっていた中山道を、本町三丁目で右折させ田町方面へ進む街道に変更しました。【ウ】城下町の中心部に往還を通し、その沿道を町屋とした城下に改造したことが、その後の商都高崎への発展に結びつきました。

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| ア (1) <small>あんどうしげのぶ</small> 安藤重信 | (2) <small>さかいいえつぐ</small> 酒井家次 |
| (3) <small>まつだいらのぶよし</small> 松平信吉 | (4) <small>まつだいらやすなが</small> 松平康長 |

- イ (1) 飯塚町 (2) 江木町 (3) 九蔵町 (4) 和田町

- ウ (1) 内町型 (2) 開放型 (3) 専士型 (4) 総郭型

問 19

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎藩主松平輝^{てるとし}聴は、アメリカからの開国要求に対する方針について幕府からの諮問に、寺社奉行見習として冷静に海防政策を上申しています。一方、藩内にあっては、飛地【ア】の海岸防禦のため自ら現地を視察し、【イ】や巨砲の鑄造を行い、家臣に西洋兵学を学ばせるなどの施策を実施しました。また、全員の武装点検を行い、戦争のない時代が続いて緩んだ家臣の気持ちの引締めを図ると共に、【ウ】を作らせて家臣全員に披露し尚武の気運を高揚させています。

ア (1) 蝦夷領 (2) 勝浦領 (3) 木更津領 (4) 銚子領

イ (1) 海図の作成 (2) 実戦訓練
(3) 砲台整備 (4) 港の開削

ウ (1) 稲妻の鎧 (2) 銀造り太刀
(3) 源頼政像 (4) 孔雀羽陣羽織

問 2 0

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎藩士寺田五右衛門は、江戸随一の隆盛を誇った【 ア 】中西道場で三羽烏と称された実力者です。木刀による組太刀で天下無敵といわれ天真伝一刀流を創始しました。しかし、後継者が続かず同流派が絶え、そのため今日一般的には名前が知られませんが、幕末最強の剣士に数えられ、今日でも剣の道を志す多くの人々に敬慕されています。

剣術以外にも居合、柔術、槍術、砲術も免許皆伝のうえ、天文、地理、医術も修めた万能の持ち主でした。高崎市新後閑町に建つ通称【 イ 】さんには寺田が讃岐の【 イ 】宮から勧請した神が合祀されています。

ア (1) 一刀流 (2) 新陰流 (3) 示現流 (4) 夢想流

イ (1) 賀茂 (2) 金刀比羅 (3) 荒神 (4) 住吉

問 2 1

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸後期に庶民文化が花開いた中、高崎でも優れた絵師が誕生しました。
【ア】は江戸四大家の一人で「秋暉しゅうきの孔雀」と称された岡本秋暉に絵を学びました。高崎に帰ってから新町（現あら町）の旅籠屋油屋に婿入りした後に、宿場助成を求めて幕府へ箱訴等を行った【イ】と呼ばれる出来事に加わり入牢の処分を受けました。大雲寺にある作品【ウ】の図は高崎市的重要文化財に指定されています。

- ア（１）青木周溪あおきしゅうけい （２）一椿斎芳輝いっちんさいよしてる
 （３）武居梅坡たけいばいは （４）矢島群芳やじまぐんぼう

- イ（１）御伝馬事件 （２）助郷騒動
 （３）地子事件 （４）問屋場騒動

- ウ（１）燕子花かきつばた （２）水墨雲竜 （３）天女 （４）龍頭観音

問 2 2

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸中期に大噴火した浅間山の泥流は、山麓の村を押し流し、利根川から銚子に達します。また降灰は、関東甲信越から奥羽一円の農作物に壊滅的な打撃を与えました。

西上州では、降灰による街道の不通で米不足となり、高崎宿・安中宿の中山道沿いに一揆が発生して信州まで押し出します。また、灰で河床が上昇した結果、各地で洪水が発生し、高崎近傍では【 ア 】河岸に大型船が入れなくなるなど、降灰は流通と経済に深刻な打撃を与えました。

高崎の農民は、耕作地に降り積もった灰を除去して復旧に努めます。小山のように寄せられた灰は、その多くが【 イ 】と呼ばれています。当時の被害の大きさを今に伝えています。

ア (1) 聖石 (2) 倉賀野 (3) 平塚 (4) 行徳

イ (1) 二子塚 (2) 平塚 (3) 灰塚 (4) 天王塚

問 2 3

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸時代の高崎の代表的な俳人に羽鳥一紅がいます。一紅は下仁田出身で、高崎城下【ア】の絹問屋・羽鳥勘右衛門に嫁ぎました。勘右衛門も「麦舟」という俳号を持ち、麦舟・一紅夫妻ともに、当時全国で活躍した白井鳥酔の門人の句集に入集しています。

一紅の代表作に『文月浅間記』があります。これは【イ】、浅間山が大噴火した状況を、高崎での自分の体験と伝聞を元に叙述したものです（没後出版）。当時の噴火の記録として優れていたことから、多くの人々に読まれました。

ア（１）本町 （２）田町 （３）鞆町 （４）鍛冶町

イ（１）天仁年間 （２）慶長年間
（３）享保年間 （４）天明年間

問 2 4

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1827（文政10）年高崎田町で生まれた茂木惣兵衛は、【 ア 】弁天通糸繭商野沢屋に入り、後にのれんを譲り受け大糸繭商人となりました。1867（慶応3）年には故郷の八幡宮大修復事業に際し大願主となり、賛同者から1063両を集め事業を推進しました。この時奉納された総高約5メートルの大【 イ 】には、同氏の名が願主として刻まれています。

この燈籠は、高崎出身の商人が郷土の主要産業であった養蚕業や金融、経済発展に大きく貢献した象徴として高崎市指定重要文化財、【 ウ 】に指定されています。

ア（１）東京 （２）横浜 （３）名古屋 （４）大阪

イ（１）石燈籠 （２）鉄燈籠
（３）陶製燈籠 （４）唐銅燈籠

ウ（１）ぐんま近代化遺産 （２）ぐんま絹遺産
（３）ぐんま産業遺産 （４）ぐんま文化遺産

問 2 5

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

倉渕地域は江戸時代には権田・三ノ倉・水沼・岩氷・【ア】の5つの村からなり、江戸時代前半は諸藩の領地でしたが、後半は旗本領と幕府領でした。烏川右岸を中心とした一帯は幕府が管理保護した御林として木材の供給地域でした。

将軍や諸大名が行った鷹狩に使う鷹が巣をかけるのに適した森林を保護管理した山は【イ】と呼ばれ、各地にありました。【ア】村の大角打1か所が【イ】として指定され、この地域は一般庶民の立ち入りは厳しく禁止されました。

ア (1) 川浦 (2) 白川 (3) 引間 (4) 松之沢

イ (1) 御巢鷹山 (2) 飼場所
 (3) 御用山 (4) 知行所

問 2 6

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎地域には長野堰用水や天狗岩堰用水、滝川用水などが張り巡らされ、広大な面積に大量の水を供給していますが、このほかにもいくつかの用水があり、それぞれの地域を潤しています。

その一つが【ア】用水です。碓氷川と九十九川の合流地点から取水された用水は八幡、剣崎、藤塚、【イ】を灌漑していますが、かつては水車、製糸、養魚池など農業以外に多目的に活用されてきました。特に、1896（明治29）年から始まった養鯉業は【ウ】という、日本で最初に導入された方式で、温水性を活かすことにより、高い漁獲量を可能にしました。

また、乗附、石原、寺尾地区には金ヶ崎堰用水が流れています。乗附緑地の先の【エ】から取水され、水路は約6キロメートルに及びます。金ヶ崎堰用水は【エ】の洪水により、度々、取水困難となり、その都度復旧工事を余儀なくされましたが、1945～1946（昭和20～21）年にかけて行われたトンネル工事により、安定した取水が可能となりました。

ア（1）信玄堰 （2）安中堰 （3）板鼻堰 （4）八幡堰

イ（1）長野 （2）豊岡 （3）根小屋 （4）倉賀野

ウ（1）沈殿式 （2）回流式 （3）流水式 （4）ろ過式

エ（1）烏川 （2）碓氷川 （3）榛名白川 （4）雁行川

問 27

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

明治の町村制施行により、群馬地域の江戸時代からの村々は、合併して上郊村、堤ヶ岡村、国府村、及び金古宿と【ア】が合併し金古町となりました。金古も行政上は農村でしたが、町となったのは【イ】の宿場として街並みが形成されていたことによると思われます。高崎城下本町から分岐した【イ】が榛名道と分岐する【ウ】に市指定史跡の道しるべが残っています。

ア（１）足門村 （２）木部村 （３）菅谷村 （４）三ツ寺村

イ（１）会津街道 （２）佐渡奉行街道
（３）沼田街道 （４）三国街道

ウ（１）井野町 （２）江木町 （３）下小鳥町 （４）並榎町

問 2 8

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

天然痘（^{ほうそう}痘瘡）は感染力が強く、致死率の高い疫病として恐れられていましたが、ジェンナーによって種痘が発見されたことにより、種痘法が急速に世界に広がりました。高崎藩で1855（安政2）年、生後4か月の藩主の子どもに種痘が施されたという記録が残りますが、領民に対しても藩医【ア】により種痘が実施されていることから、身分に関係なく感染防止策が広く執られていたことが分かります。

また、明治になるとコレラが周期的に流行し、多くの人が罹患しました。1882（明治15）年、コレラに感染した人々を収容するための独立した施設である【イ】が設立され、隔離によって流行を抑え込む対策が講じられるようになりました。

初代高崎市長であった矢島八郎が提示した【ウ】には第1期施策の一つとして、市役所庁舎と並んで、伝染病院の改築が挙げられており、伝染病対策が市の取り組むべき喫緊の課題であるとしています。

- ア（1）^{はなおかせいしゅう}華岡青洲 （2）^{たかしましゅうけん}高島昌軒
 （3）^{ちょうさんせき}長三石 （4）^{くどうしゅんえい}工藤俊栄

- イ（1）保健所 （2）^{ひびょういん}避病院 （3）診療所 （4）衛生会所

- ウ（1）市是 （2）総合計画 （3）条例 （4）請願書

問 2 9

次の文章の高崎歩兵第十五連隊にまつわる記述のうち、正しいものはどれでしょうか。

- (1) 片岡小学校のすぐ南に建つ七士殉職供養塔は、1935（昭和10）年9月に高崎市内が台風に襲われたときに、住民救助に向かいながら、決壊した堤防のために濁流に流され殉難した兵士の栄誉をたたえるために建てられたものです。
- (2) 音楽センターの前庭の一角に高崎歩兵第十五連隊歌の詞碑が建てられていますが、その楽譜は残されておらず、現在、この連隊歌を演奏することはできません。
- (3) 高松町交差点の石垣上にある飛龍之松は、1934（昭和9）年の陸軍大演習に昭和天皇が臨幸したことを記念して植えられたものです。
- (4) 竜広寺境内の旧陸軍墓地にある元ロシア人兵士の墓は、1919（大正8）年に高崎歩兵第十五連隊がシベリア出兵に従軍したときに捕らえられた捕虜で、抑留中に傷病死した3名の墓です。

問 3 0

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎藩古領（安藤家支配以前の村々）の年貢が、新領（大河内家支配以降の村々）や旧幕府・旗本領よりも重かったことから、1869（明治2）年の凶作をきっかけに古領の農民を中心に税制改正運動が起こりました。高崎藩8万2千石の内、古領5万石で起こったことから「五万石騒動」と呼ばれています。

この騒動で農民は、①田方年貢を新領あるいは旧幕府領と同じ程度に引き下げること、②【 ア 】を明治政府に求めました。

大総代としてこの騒動を主導した佐藤造酒之助（三喜蔵）・高井喜三郎・小島文治郎の3人は【 イ 】となりました。

- ア（1）畑方年貢を米納から永納（金納）にすること
（2）徳政令で借金を帳消しにすること
（3）圧政をした初代知県事・大音龍太郎の罷免
（4）高崎宿で相撲や芝居興行を許可すること

- イ（1）手鎖 （2）遠島 （3）死罪 （4）投獄され牢死

問 3 1

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

達磨大師が座禅をする姿がルーツとされるだるまですが、高崎市は全国一のだるまの生産地です。

高崎だるまの発祥には諸説ありますが、江戸時代の文化文政年間に豊岡村の山縣友五郎が始めたとされています。当時、江戸では【ア】が流行り病として蔓延しており、赤は邪気を払うと信じられていたことから、赤いだるまが【ア】除けのお守りとして売られていました。

明治期には、^{あしなてつじゅうろうもりゆき}葦名鉄十郎盛幸が豊岡村に住み始め、だるまの【イ】を専門に彫り始めます。これにより、農閑期の副業として多くのだるまが作られるようになりました。

近年、『高崎談叢抄』という1829（文政12）年の文献に、だるまに関わる記載があることが分かりました。田町の【ウ】で、だるまを売る様子が版画と文章で残されていたのです。まちなかでの、だるま市のルーツともいえるかもしれません。

また、少林山達磨寺では、毎年1月【エ】に七草大祭だるま市が開催され、多くの人出で賑わいます。

- ア（１）結核 （２）コロナ
（３）コレラ （４）天然痘（^{ほうそう}疱瘡）

- イ（１）金型 （２）木型 （３）砂型 （４）粘土型

- ウ（１）ゑびす講市 （２）二日市 （３）十日市 （４）六斎市

- エ（１）２日、３日 （２）４日、５日
（３）６日、７日 （４）８日、９日

問 3 2

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

榛名地域は北関東屈指の果樹産地として有名です。地域の里見地区を走る国道406号はフルーツ（くだもの）街道と呼ばれ、夏の訪れとともに果樹園の直売所が開かれ、梨、プラム、桃などの果実が店頭を飾ります。

榛名地域における梨の栽培は1868（明治元）年に当時18歳の【ア】が旧勢多郡木瀬村から数種の苗を取り寄せ、試植したことに始まります。

【イ】はこの時の苗木の一本と言われ、樹齢130年余り、樹高12メートルの大木は群馬県の天然記念物に指定されています。

また、毎年11月には収穫された梨の大きさを競うジャンボ梨コンテストが行われていて、晩生種の重さ1.1キログラム以上のものが「【ウ】伝説」の商標（ブランド名）で販売されています。

- ア（１）^{とみざわ こへい じ}富沢小平治 （２）^{な か そ ね む ね よ し}中曽根宗郁
 （３）^{たけごし とく ぞう}竹腰徳蔵 （４）^{ひぐち さだつぐ}樋口定次

- イ（１）里見の大ナシ （２）小根のヤマナシ
 （３）梨の木平の山梨 （４）室田のナシの木

- ウ（１）雷おこし （２）空っ風 （３）冬将軍 （４）風花

問 3 3

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎藩士の子に生まれ、高崎英学校で学んだ【ア】の著した『代表的日本人』は、新渡戸稲造の『武士道』、岡倉天心の『茶の本』と並び、日本人が英語で日本の思想文化を西欧諸国に紹介した名著であり代表的著作です。同書は、彼が、【イ】により失職し、窮乏した生活を送る中で、英文で『Japan and Japanese』として上梓され、後に改訂されたものですが、この中では、西郷隆盛、【ウ】、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮の5人の生涯が叙述されています。

- ア (1) あらいりょういちろう 新井領一郎 (2) うちむらんぞう 内村鑑三
(3) おざきゆきお 尾崎行雄 (4) みやべのぼる 宮部 襄

- イ (1) 横領事件 (2) 疑獄事件
(3) 傷害事件 (4) 不敬事件

- ウ (1) うえすぎようざん 上杉鷹山 (2) しまづなりあきら 島津斉彬
(3) ほしなまさゆき 保科正之 (4) みとみつくに 水戸光圀

問 3 4

【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

ア 高崎市街地の西部の岩野谷丘陵が観音山と呼ばれる理由とされているのは、どれでしょうか。

- (1) 白衣大観音が建立されたから
- (2) 清水寺の本尊の千手観音に由来
- (3) 井伊直政が命名したから
- (4) 高崎はかつて観音崎と呼ばれていたから

イ 白衣大観音を建立したのは、誰でしょうか。

- (1) やじまはちろう 矢島八郎
- (2) やまだしょうきち 山田 昌 吉
- (3) いのうえやすさぶろう 井上保三郎
- (4) もりむらとりぞう 森村西蔵

ウ 清水寺・田村堂には、【 】で命を落とした高崎藩士ら36人の木像が安置、慰霊されています。【 】に入るのは、どれでしょうか。

- (1) 下仁田戦争
- (2) 戊辰戦争
- (3) 西南戦争
- (4) 戸倉戦争

エ 1952（昭和27）年に観音山で【 】が開催され、子どもたちに愛される公園として、開発されるきっかけとなりました。【 】に入るのは、どれでしょうか。

- (1) サーカス
- (2) 新日本高崎こども博覧会
- (3) えびす講
- (4) 花火大会

問 3 5

明治、昭和、平成の大合併で高崎市の市域が変遷し、現在の高崎市が形成されました。昭和30年代に進められた「昭和の大合併」の出来事として正しいものはどれでしょうか。

- (1) 群馬郡倉渕村、榛名町、群馬町、箕郷町が誕生しました。
- (2) 上野三碑（多胡碑・山上碑・金井沢碑）の全てが高崎市域となりました。
- (3) 高崎市が塚沢村、片岡村、佐野村と合併しました。
- (4) 高崎市と多野郡新町の合併で、高崎市新町が「あら町」に町名変更しました。

問 3 6

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

土屋文明は、西群馬郡【ア】村に生まれた近代日本を代表する歌人です。

旧制高崎中学校に在学中から文学を志し、卒業後に上京して、第一高等学校、東京帝国大学へと進みます。その後、短歌結社誌『【イ】』の選者、編集発行人となり、その指導的存在となりました。歌人として多くの作品・歌集を残すと共に、【ウ】の研究にも打ち込み、研究者としての地位を確立しました。

長期間にわたり、歌壇の最長老として活動し、1986（昭和61）年には【エ】を受章。晩年まで創作活動を続け、1990（平成2）年に100歳で没しました。

生前、自身の歌碑を造ることを許さなかった文明ですが、唯一、群馬町（当時）が文明の100歳を祝い、母校【ア】小学校にある自筆の文字で刻まれた歌碑が死の直前に除幕され、上毛野はにわの里公園にあります。

ア（1）上郊 （2）久留馬 （3）里見 （4）堤ヶ岡

イ（1）麻^{あさ}苧^お （2）馬^あ酔^し木^び （3）アララギ （4）ホトトギス

ウ（1）古今和歌集 （2）拾遺和歌集
 （3）百人一首 （4）万葉集

エ（1）旭日瑞光章 （2）国民栄誉賞
 （3）紫綬褒章 （4）文化勲章

問 3 7

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1955（昭和30）年、【ア】を描いた映画『ここに泉あり』が公開されました。

主演の岸恵子は【イ】を演じ、第29回キネマ旬報ベスト・テン第5位に選ばれるなど全国でヒットしました。

この映画のヒットは、【ウ】につながりました。

- ア（１）白衣大観音の建立 （２）老舗旅館の珍騒動
（３）群馬交響楽団の草創期 （４）高崎の空襲

- イ（１）ピアニスト （２）医師 （３）教師 （４）若女将

- ウ（１）映画制作等を支援する高崎フィルムコミッションの設立
（２）群馬音楽センターの建設
（３）核兵器廃絶平和都市宣言の制定
（４）高崎市民美術展の開催

問 3 8

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

かみつけの里博物館は、国史跡の【ア】に隣接した考古学系の博物館（1998（平成10）年開館）で、高崎市井出町に所在しています。床面積は約2,000平方メートルで、重要文化財を収蔵・展示できる構造で設計・建築されました。常設展示室のテーマは「よみがえる【イ】」であり、リアルな模型と豊富な遺物によって、当時の社会構造が分かりやすく学習できるように工夫されています。

- ア（１）観音塚古墳 （２）保渡田古墳群
（３）日高遺跡 （４）箕輪城

- イ（１）中世の武将たち （２）弥生のくらし
（３）５世紀の世界 （４）古墳人の実像

問 3 9

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1981（昭和56）年4月18日に誕生した【ア】町は、近くに金井沢碑や山名城址などがある岩野谷丘陵にあります。この地は、埼玉県境から前橋インターチェンジまでの間約15.2キロメートルの【イ】の盛土用材として約700万立方メートルの土砂を供給した跡地です。

その後1979（昭和54）年から群馬県企業局が面積約31ヘクタールに及ぶ住宅団地造成工事を行い、区画道路は交通事故を考慮して、交差点が丁字路になるよう整備するなど工夫して出来た町です。

- ア（１）城山 （２）寺尾 （３）中山 （４）石原

- イ（１）国道１７号 （２）上信越自動車道
（３）関越自動車道 （４）国道１８号

問 4 0

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎地域では路線バスの利用者の減少により、路線の廃止や運行本数の減便が進んだことから、交通弱者対策として、1997（平成9）年、【ア】の愛称で、自治体主導の循環バスの運行を始めました。当初は東西南北の4路線でしたが、徐々に路線を増やし、現在は18路線が整備され、高崎市民の大切な足となっています。さらに、これとは別に吉井地域では「よいバス」が、榛名地域では「はるバス」が運行されています。

また、倉渕、榛名、吉井地域には「おとしよりぐるりんタクシー」が、中心市街地には「お店ぐるりんタクシー」が導入されています。このほか、倉渕地域では【イ】支援事業として、せせらぎ号が運行されるなど、地域のニーズに応じたきめ細かな対応が図られています。

ア（１）めぐるん （２）ぐるりん
（３）ぐるっと （４）マイバス

イ（１）高齢者の買い物 （２）観光客の誘客
（３）児童・生徒の通学 （４）日帰り温泉の利用

問 4 1

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

浜川町から井出町にかけて建設中の浜川運動公園に今年度テニスコートが整備され（7月11日オープン）、名称は「【ア】メモリアルテニスコート」です。

【ア】は箕郷町出身で、1920（大正9）年のテニスの四大国際大会の一つウィンブルドン選手権に日本人として初めて出場し、準決勝で足を滑らせた相手に柔らかく返球したというエピソードの持ち主です。日本人のフェアプレー精神として教科書に掲載されるなど広く知られるようになりました。

テニスコートは【イ】面整備、うち4面はナイター照明のほか、観客席も設置されています。

- | | | | |
|------|--------------------------------|-----|----------------------------------|
| ア（１） | <small>しみずぜんぞう</small>
清水善造 | （２） | <small>くまがいいち や</small>
熊谷一弥 |
| | <small>さとうじろう</small>
佐藤次郎 | （４） | <small>まつおかしゅうぞう</small>
松岡修造 |

- イ（１） 8 （２） 11 （３） 17 （４） 21

高崎学検定委員会